BOB GELDOF

- **Founder of Live Aid, Live8 and Band Aid**

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Academics
- Activists
- Education
- Philosophers
- Society

Bob Geldof卿は、アフリカの飢饉や援助団体だけでなく、ロンドンやワシントンの政治、世界規模のコミュニケーション、そしてビジネスについても非常によく知られています。彼のプレゼンテーションは非常に挑発的であり、彼が彼自身の個人的な経験とLive Aidから学んだ教訓を通して動機づけているので彼は聴衆を高揚させそして刺激します Sir Bob Geldofは、最もランクが高く、最も賞賛に値する企業の講演者、会議の基調講演者、および夕食後の講演者です。

1954年にダブリンで生まれたボブ・ゲルドフは、カナダで音楽出版のためのジャーナリストとして音楽シーンに入り、ダブリンに戻ったときに、バンド「ブームタウンラット」を結成しました。 1976/77の。

イギリスでナンバーワンのシングル2曲を含む一連のヒットの後、Geldofは彼の時代の最も有名なポップパーソナリティの1つとして浮上しました Pink FloydのThe Wallの映画に出演した後、彼は1984年にエチオピアを悩ませていた恐ろしい飢饉に目を向けました。

1986年6月に騎士団を受賞し、自伝を発表した後、ボブ・ゲルドフはソロアルバム「どこにもない心の奥深く」をレコーディングし、マイナーヒット曲「This Is The World Calling を生み出しました。

1992年までに、ボブ・ゲルドフは、80年代半ばにプラネット・ピクチャーズとしての人生を始めたテレビ製作所プラネット24の彼の共同所有権で非常に鋭いビジネスマンとしての地位を確立しました。同社は1992年に先駆的な早朝のテレビシリーズThe Big Breakfastを発売することによって大きな時代に突入した Planet 24はCarlton TVに売却された。

90年代後半、ボブがインターネットで家族旅行を予約する際に問題が発生したとき GeldofはJames Pageと共同でオンライン旅行代理店Deckchair.com.を設立しました。

Ten Alps Communicationsは、1999年にBob GeldofとAlex Connockによって設立され、以前のTVベンチャー企業であるPlanet 24から生まれたものから生まれました Ten Alpsという名前は、Planetのスペルミスの逆から来ています Ten Alpsは大成功を収め、プロダクションには有名なドキュメンタリーも含まれています。

最近の数々の表彰の中で、ボブはアイルランド国立大学から名誉博士号を授与され MTM Free Your Mind Award リスボン EPMマーケティングオブザイヤー賞（ロサンゼルス）を受賞しました。2005年にローマで行われた式典でミカエル・ゴルバチョフによって彼に授与された南北評議会賞（リスボン）およびノーベル平和の勲章賞。2006年に彼は自由のダブリン市を授与され、ノーベル平和賞にノミネートされました2009年、彼はROTAから生涯達成賞を受賞しました。 2011年、彼はイスラエルのネグエフのベングリオン大学から「数十年にわたる人道的慈善活動のための慈善活動」の名誉博士号を授与されました。2013年9月に、彼はロンドンの自由の賞を授与されました。彼の音楽へのサービスと国際社会正義と平和への顕著な貢献。ボブはノーベル平和賞に数回推薦されました。

2007年6月8日、ボブはYIBCの会議の代表者たちがこれまでに記録された中で最も高い肯定的なフィードバックで彼を評価したとき、主要な国際基調講演者としての彼の情熱を示しました！ 「彼は、フルスコアを獲得した最初のYIBCスピーカーですが、スピーチ、ユーモア、ヒューマニティー、リアリズム、夢、そして緊急性をすべて備えていました。彼は、経済学と政治を把握し、鈍い外交活動をする能力を示しました。おそらくここ数年で最も人気のあるYIBCのパフォーマーでしたが、多くの参加者がLive AidとLive 8の背後にいる人物がそれを突破したと感じました。

2008年2月、ボブはジョージWブッシュ大統領と一緒に、問題のある大陸への大統領の別れの旅行でアフリカを訪れ、TIME誌の主な特集記事を書いた Bob Geldofは影響力があり、感動的なスピーカーです。彼は非常に娯楽であり、社会政治的および隆起的な分野、ならびにリーダーシップ、コミュニケーション、世界の村でのマーケティング、動機および自己啓発についての深い洞察を持っています。彼のユニークなプレゼンテーション、見解、洞察は、彼のセンセーショナルなプレゼンテーションから恩恵を受けたいと常に望み、永続的で力強い印象を残す企業によって大いに求められています。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988